

# 沼津市公共下水道

## 事業計画変更計画書

公共下水道管理者 沼津市長

工事着手の年月日 昭和42年4月1日

工事完成の予定年月日 平成31年3月31日  
平成36年3月31日

(第1表の1)

予定処理区域調書(分流式の汚水・合流式)			
予定処理区域の面積	約 982 ヘクタール 約1,034 ヘクタール	予定処理 区域内の地名	静岡県 沼津市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」
処理区の名称	面 積 (単位ヘクタール)	摘 要	
中 部 処 理 区	334	合流式 188 ヘクタール 分流式 146 ヘクタール	
久 連 処 理 区	10	分流式(特定環境保全公共下水道)	
内 浦 処 理 区	58 52	分流式	
狩野川左岸処理区	494 553	分流式(うち特定環境保全公共下水道 116 ヘクタール) 分流式(うち特定環境保全公共下水道 111 ヘクタール)	
戸 田 処 理 区	86	分流式(特定環境保全公共下水道)	

(第1表の2)

予定処理区域調書(分流式の雨水)			
予定排水区域の面積	約145 ヘクタール	予定排水 区域内の地名	静岡県 沼津市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」
排水区の名称	面 積 (単位ヘクタール)	摘 要	
観音川第一排水区	84		
観音川第二排水区	61		

(第2表の1)

吐口調書(分流式の汚水・合流式)						
処理区 の名称	主要な吐口 の種類	主要な吐口 の番号又は 名称	主要な吐口 の位置	計画放流量 (m <sup>3</sup> /sec)	放流先 の名称	摘 要
中部処理区	処理施設	中部浄化 プラント 放流渠	沼津市 本字千本	0.265 0.306	観音川	
	ポンプ施設	中部 ポンプ場	沼津市 本字千本	14.109	観音川	
	合流式 雨水管渠	雨水処理 施設	沼津市 本字千本	2.500	観音川	
久連処理区	処理施設	久連浄化 センター 放流渠	沼津市西浦 久連字浜田	0.004 0.006	久連川	
内浦処理区	処理施設	重須浄化 センター 放流渠	沼津市内浦 重須 字岩尻、字清水	0.024 0.022	益山川	
狩野川左岸 処理区	処理施設	南部浄化 センター 放流渠	沼津市江浦 字西山、字魚見戸 及び獅子浜字小浜	0.277 0.282	駿河湾	
戸田処理区	処理施設	戸田浄化 センター 放流渠	沼津市戸田 字小中島	0.037 0.019	雨水 排水路	

(第2表の2)

吐口調書(分流式の雨水)						
排水区 の名称	主要な吐口 の種類	主要な吐口 の番号又は 名称	主要な吐口 の位置	計画放流量 (m <sup>3</sup> /sec)	放流先 の名称	摘 要
観音川第一 排水区	分流式 雨水管渠	吐口1	沼津市本松下 七反田	8.939	観音川	
観音川第二 排水区	分流式 雨水管渠	吐口2	沼津市本松下 七反田	5.714	観音川	

(第3表の1) その1

管 渠 調 書 (分流式の汚水・合流式)				
処理区の名 称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位：ミメー トル)	延 長 (単位：メー トル)	点検箇所 の 数	摘 要
中部処理区	○ 300	270 260		
	○ 350	970 750		
	-	-		
	○ 400	2,210		
	○ 700	500 330		
	○ 800	980 1,000		
	-	-		
	○1200	110		
	○1350	180		
	○1500	80		
	○1650	60 170		
	○2000	70 140		
	○2200	90		
	□2400×2400	10		(中部浄化プラント放流渠)
	□2700×2430	660		
	□2700×2650	10		
	□3000×2650	320		
	□3300×2750	140 280		
	□3300×2950	70		
	□3800×2900	10		
□3800×3200	20			
計		4,440 6,720		
内浦処理区	○ 200	1,210		
	○ 400	740	- 1箇所	
	- ○ 450	- 10		(長浜中継ポンプ場流入渠)
計		1,950 1,960	- 1箇所	

(第3表の1) その2

管 渠 調 書 (分流式の汚水・合流式)				
処理区の名 称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位：ミメー ト ル)	延 長 (単位：メー ト ル)	点検箇所 の 数	摘 要
狩野川左岸処理区	○ 150	500 -		
	○ 200	780 580		
	○ 250	300 350		
	○ 300	230 690		
	○ 350	1,140 790	- 1 箇所	
	○ 400	1,550 2,610		
	○ 450	620 450		
	○ 500	310 290		
	○ 600	210 620		
	○ 700	1,580 -		
	○ 800	1,000 2,580		(南部浄化センター放流渠含む)
	○ 900	180		
	○1000	120 -		
	○1100	1,110 1,220		
○1350	3,430	- 1 箇所		
計		13,060 13,770	- 2 箇所	
戸田処理区	○ 200	560 460		
	○ 250	510 240		
	○ 300	410		
	○ 350	- 10		
	○ 450	200	- 1 箇所	
計		1,680 1,310	- 1 箇所	
総 計		21,130 23,760	- 4 箇所	方法：マンホールからの管内目視又は管ロテレビカ メラを用いる方法 頻度：5年に1回以上

(第3表の2)

管 渠 調 書 (分流式の雨水)				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メー トル)	点検箇所 の数	摘 要
観音川第一排水区	□1800×1600	90		
	□1400×1200	570		
	□1500×1500	130		
	□1500×1680	40		
	□1600×1200	300		
	□1600×1300	20		
	□1800×1600	160		
	□3700×1800	120		
	∨ 4440×3600×1400	400		
	∨ 6120×4500×2700	890		
計		2,720		
観音川第二排水区	□1600×1300	200		
	∨ 2600×1600×1600	30		
	∨ 4770×4050×1200	100		
	∨ 4860×4050×1350	80		
	∨ 4950×4050×1500	230		
	∨ 5000×4300×1500	50		
	∨ 6600×5900×1500	10		
計		700		
総 計		3,420		

(第4表) その1

処 理 施 設 調 書								
終末 処理場 等の名称	位置	敷地 面積 (単位： ヘクタール)	計画 放流 水質 (単位： mg/L)	処理 方法	処理能力		計画 処理人口 (単位： 人)	摘 要
					晴天日 最大 (単位： 立方メートル)	雨天日 最大 (単位： 立方メートル)		
中部浄化 プラント (中部 処理区)	沼津市 本字 千本	約 2.03	BOD 15	標準 活性 汚泥法	24,150 26,460	71,875	21,110 20,430	計画下水道量 (日最大) 18,634 m <sup>3</sup> /日 26,460 m <sup>3</sup> /日 全体計画処理能力 (日最大) 24,150 m <sup>3</sup> /日 19,866 m <sup>3</sup> /日 計画流入水質 BOD 157mg/L 148mg/L S S 117mg/L 108mg/L 計画処理水質 BOD 15mg/L S S 20mg/L
久連浄化 センター (久連 処理区)	沼津市 西浦 久連 字浜田	約 0.12	BOD 15	長時間 エアレーシ ョン法	612	—	330 310	計画下水道量 (日最大) 284 m <sup>3</sup> /日 481 m <sup>3</sup> /日 全体計画処理能力 (日最大) 612 m <sup>3</sup> /日 計画流入水質 BOD 193mg/L 277mg/L S S 150mg/L 209mg/L 計画処理水質 BOD 15mg/L S S 30mg/L
重須浄化 センター (内浦 処理区)	沼津市 内浦 重須 字岩尻 字清水	約 0.82	BOD 15	長時間 エアレーシ ョン法	2,687	—	2,030 1,940	計画下水道量 (日最大) 1,854 m <sup>3</sup> /日 1,906 m <sup>3</sup> /日 全体計画処理能力 (日最大) 2,687 m <sup>3</sup> /日 計画流入水質 BOD 184mg/L 224mg/L S S 143mg/L 171mg/L 計画処理水質 BOD 15mg/L S S 27mg/L

(第4表) その2

処 理 施 設 調 書								
終末 処理場 等の名称	位置	敷地面積 (単位： ヘクタール)	計画 放流 水質 (単位： mg/L)	処理 方法	処理能力		計画 処理人口 (単位： 人)	摘 要
					晴天日 最大 (単位： 立方メートル)	雨天日 最大 (単位： 立方メートル)		
南部浄化 センター (狩野川 左岸 処理区)	沼津市 江浦 字西山 字魚見戸 及び 獅子浜 字小浜	約 4.14	BOD 15	標準 活性 汚泥法	26,000	—	30,640 38,940 ※清水町 5,240 10,510 含む	計画下水量 (日最大) 21,180 m <sup>3</sup> /日 24,329 m <sup>3</sup> /日 (清水町 3,010 6,199 m <sup>3</sup> /日含む)  全体計画処理能力 (日最大) 39,000 m <sup>3</sup> /日 26,000 m <sup>3</sup> /日 (清水町 6,843 6,545 m <sup>3</sup> /日含む)  計画流入水質 BOD 213mg/L 211mg/L COD 102mg/L 100mg/L S S 152mg/L 149mg/L  計画処理水質 BOD 15mg/L COD 20mg/L S S 30mg/L
戸田浄化 センター (戸田 処理区)	沼津市 戸田 字小中島	約 0.43	BOD 15	膜分離 活性 汚泥法	3,200 2,140	—	2,770 2,520	計画下水量 (日最大) 2,740 m <sup>3</sup> /日 1,608 m <sup>3</sup> /日  全体計画処理能力 (日最大) 3,200 m <sup>3</sup> /日 2,140 m <sup>3</sup> /日  計画流入水質 BOD 155mg/L 207mg/L S S 120mg/L 161mg/L  計画処理水質 BOD 15mg/L S S 30mg/L



(第4表) その3

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
中部浄化プラント	流入管渠	1式	—	流量 0.874 m <sup>3</sup> /秒	1 / 1
	最初沈殿池	3池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 40 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日 約 50 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日	3 / 3
	雨水沈殿池	3池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 50 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日	3 / 3
	反応タンク	6池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約 7時間 約 6時間	6 / 6
	最終沈殿池	6池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 25 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日 約 30 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日	6 / 6
	塩素接触タンク	1池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 約 17分 約 15分以上	1 / 1
	送風機	3台	—	風量 約 60 m <sup>3</sup> /分 風量 約 30 m <sup>3</sup> /分	3 / 3 (内1台予備) 60 m <sup>3</sup> /分×2台 30 m <sup>3</sup> /分×1台(予備機)
	放流渠	1式	鉄筋コンクリート造り	流量 0.874 m <sup>3</sup> /秒	1 / 1
	汚泥濃縮タンク	1池	重力式濃縮 鉄筋コンクリート造り	固形物負荷 約 60kg/m <sup>2</sup> /日	1 / 1
	汚泥濃縮機	2台	機械式	処理能力 20 m <sup>3</sup> /時	2 / 2 (内1台予備)
	混合貯留タンク	1池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約 20時間	1 / 1 (既設重力式濃縮槽の 1槽を利用)
	汚泥消化タンク	2槽 1組	鉄筋コンクリート造り	消化日数 約 30日	2 / 2
	ガスタンク	1基	—	容量 約 550 m <sup>3</sup>	1 / 1
	汚泥貯留タンク	1池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約 35時間 約 17時間以上	1 / 1
	汚泥脱水機	2台	機械式	投入固形物量 1.446tDs/日	2 / 2
	自家発電設備	1台	—	発電容量 約 500kVA	
管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	事務室	地下1階 地上3階	

(第4表) その4

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
久連浄化センター	流入管渠	1式	鉄筋コンクリート造り	流量 0.010 m <sup>3</sup> /秒	1 / 1
	沈砂池	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 1,800 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日	2 / 2 (内1池予備)
	主ポンプ	2台	汚水ポンプ	約 0.62 m <sup>3</sup> /分	2 / 2 (内1台予備)
	調整槽	2槽	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約 11 時間	2 / 2 (ポンプは 0.43 m <sup>3</sup> /分× 2台 (内1台予備))
	反応タンク	2池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約 24 時間	2 / 2
	最終沈殿池	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 13 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日 約 8~12 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日	2 / 2
	塩素接触タンク	1池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 約 24 分 約 15 分以上	1 / 1
	調整槽用送風機	2台	—	風量 約 5.0 m <sup>3</sup> /分	2 / 2 (内1台予備)
	エアレーション用送風機	2台	—	風量 約 8.4 m <sup>3</sup> /分	2 / 2 (内1台予備)
	放流渠	1式	鉄筋コンクリート造り	流量 0.010 m <sup>3</sup> /秒	1 / 1
	汚泥濃縮タンク	1池	鉄筋コンクリート造り	固形物負荷 約 21kg/m <sup>2</sup> /日 約 30~50kg/m <sup>2</sup> /日	1 / 1
	汚泥貯留タンク	1池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約 4 日 約 2 日	1 / 1
	汚泥脱水機	1台	機械式	投入固形物量 0.041tDs/日	1 / 1
	自家発電設備	1台	—	発電容量 約 60kVA	
	管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	電気室、自家発電機室、ブロー室、脱水機室	地上2階

(第4表) その5

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
重須浄化センター	流入管渠	1式	鉄筋コンクリート造り	流量 0.045 m <sup>3</sup> /秒	1 / 1
	調整槽	2槽	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約6時間	2 / 2
	反応タンク	4槽	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約20時間	4 / 4
	最終沈殿池	4池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 15 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日 約 8~12 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日	4 / 4
	塩素接触タンク	1池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 約20分	1 / 1
	エアレーション用送風機	3台	—	風量 約 8.5 m <sup>3</sup> /分	3 / 3 (内1台予備)
	放流渠	1式	鉄筋コンクリート造り	流量 0.045 m <sup>3</sup> /秒	1 / 1
	汚泥濃縮タンク	2池	鉄筋コンクリート造り	固形物負荷 約 30kg/m <sup>2</sup> /日	2 / 2
	汚泥貯留タンク	2池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約 5日 約 3日	2 / 2
	自家発電設備	1台	—	発電容量 約 70kVA	
	管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	電気室、自家発電機室、プロア室	地上1階

(第4表) その6

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
南部浄化センター	流入管渠	1式	鉄筋コンクリート造り	流量 0.90 m <sup>3</sup> /秒	1 / 1
	沈砂池	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 1,600 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日	2 / 2
	主ポンプ	3台	汚水ポンプ	11 m <sup>3</sup> /分×2台 21 m <sup>3</sup> /分×1台	3 / 5 (内1台予備)
	最初沈殿池	4池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 75 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日 約 50 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日	4 / 4
	反応タンク	2池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約 10時間	2 / 2
	送風機	6台	—	25 m <sup>3</sup> /分×2台 68 m <sup>3</sup> /分×4台	6 / 7 (内 25 m <sup>3</sup> /分×2台予備)
	最終沈殿池	4池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約 18 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日	4 / 4
	塩素接触タンク	1池	鉄筋コンクリート造り	接触時間 約 16分	1 / 1
	放流渠	1式	鉄筋コンクリート造り	流量 晴天時 0.52 m <sup>3</sup> /秒 雨天非常時 1.49 m <sup>3</sup> /秒	1 / 1
	汚泥濃縮タンク	1池	重力式 鉄筋コンクリート造り	固形物負荷 約 75kg/m <sup>2</sup> /日	1 / 1
	汚泥濃縮機	1台	機械式	処理能力 約 15 m <sup>3</sup> /時	1 / 1
	汚泥貯留タンク	1池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約 4日	1 / 1
	汚泥脱水機	3台	機械式	投入固形物量 3.561tDs/日	3 / 3 (内1台予備) 10 m <sup>3</sup> /時×2台 20 m <sup>3</sup> /時×1台 (内1台予備)
	自家発電設備	1台	—	発電容量 約 1,000kVA	1 / 2
管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	事務室、水質試験室	地上2階	

(第4表) その7

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
戸田浄化センター	流入管渠	1式	ダクタイル鋳鉄管 内径 250mm	流量 0.054 m <sup>3</sup> /秒	1 / 1
	スクリーン	1台	スクリーンユニット	処理水量約 4.9 m <sup>3</sup> /分	1 / 1
	流量調整槽	2槽	鉄筋コンクリート造り	日最大水量の 4.3 時間分	2 / 2
	無酸素タンク	3槽 2槽	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 3 時間	3 / 3 2 / 2
	好気タンク	3槽 2槽	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 3 時間	3 / 3 2 / 2
	膜分離装置	1式	—	処理水量 1,067 m <sup>3</sup> /日/槽 1,608 m <sup>3</sup> /日/槽	3 / 3 2 / 2
	送風機	4台 3台	—	風量 約 54 m <sup>3</sup> /分 約 29 m <sup>3</sup> /分	4 / 4 3 / 3 (内 1 台予備)
	放流渠	1式	硬質塩化ビニル管 内径 450mm	流量 0.054 m <sup>3</sup> /秒	1 / 1
	汚泥脱水機	1台	機械式	投入固形物量 0.31tDs/日	1 / 1
	自家発電設備	1台	—	発電容量 約 150kVA	1 / 1
	管理機械棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	送風機・ポンプ室、電気室、監視室、自家発電室、作業員控室搬出室、脱水機室	— 地下 1 階 地上 2 階

(第5表)

ポンプ施設調書						
ポンプ施設の名称	処理区の名称	ポンプ施設の位置	敷地面積 (単位： ヘクタール)	1分間の揚水量 (単位：立方メートル)		摘要
				晴天時 最大	雨天時 最大	
中部ポンプ場	中部処理区	沼津市本字千本	約 0.81	14.76	1,014.66	合流
松下中継ポンプ場	中部処理区	沼津市本松下七反田	約 0.08	10.04	—	分流汚水
長浜中継ポンプ場	内浦処理区	沼津市内浦長浜字網代	約 0.01	2.4	—	分流汚水
ポンプ施設の敷地内の主要な施設						
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構造	能力	摘要	
中部 ポンプ場	雨水沈砂池	3池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 44.4秒		
	汚水沈砂池	2池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 100.0秒		
	雨水ポンプ	4台	立軸斜流ポンプ	揚水量 250 m <sup>3</sup> /分/台		
	汚水ポンプ	3台	電動機直結立軸斜流 渦巻ポンプ	揚水量 23 m <sup>3</sup> /分/台	内1台予備	
	自家発電設備	1台	—	発電容量 1,250kVA		
	雨水処理施設	1式	高速ろ過設備	ろ過面積 225 m <sup>2</sup>		
		1台	ポンプ	揚水量 150 m <sup>3</sup> /分		
1式		放流渠	流量 2.5 m <sup>3</sup> /秒			
松下中継 ポンプ場	汚水沈砂池	1池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 26.5秒		
	汚水ポンプ	4台	水中汚水ポンプ	揚水量 3.7 m <sup>3</sup> /分/台	内1台予備	
	自家発電機	1台	—	発電容量 200kVA		
長浜中継 ポンプ場	汚水沈砂池	2池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 12.8秒		
	汚水ポンプ	3台	水中汚水汚泥型ポンプ	揚水量 1.2 m <sup>3</sup> /分/台	内1台予備	
	自家発電機	1台	—	発電容量 75kVA		

## 6. 毎会計年度の工事費の予定額及びその予定財源

赤字：既計画  
黒字：変更計画 (単位：千円)

年次	イ . 経 費 の 部								合計
	建設改良費					起債元利償還費	維持管理費	その他	
	管渠	ポンプ場	処理場	計	うち用地費				
平成29年度まで (過年度分)	36,499,359	7,727,957	21,145,280	65,372,596	1,701,892	34,428,242	26,031,647	-	125,832,485
	34,572,614	7,743,400	20,647,923	62,963,937	1,701,892	34,949,172	25,415,905	-	123,329,014
平成30年度	1,161,411	0	230,000	1,391,411	-	1,525,205	1,037,394	-	3,954,010
	1,016,544	135,000	98,000	1,249,544	-	1,719,510	879,694	-	3,848,748
平成31年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	970,429	282,000	100,000	1,352,429	-	1,690,603	905,398	-	3,948,430
平成32年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1,228,274	147,000	2,000	1,377,274	-	1,680,640	929,935	-	3,987,849
平成33年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1,215,041	0	0	1,215,041	-	1,617,674	960,992	-	3,793,707
平成34年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1,211,031	0	0	1,211,031	-	1,580,623	991,715	-	3,783,369
平成35年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	984,464	0	0	984,464	-	1,465,182	1,022,335	-	3,471,981
小計	1,161,411	0	230,000	1,391,411	-	1,525,205	1,037,394	-	3,954,010
	6,625,783	564,000	200,000	7,389,783	-	9,754,232	5,690,069	-	22,834,084
合計	37,660,770	7,727,957	21,375,280	66,764,007	-	35,953,447	27,069,041	-	129,786,495
	41,198,397	8,307,400	20,847,923	70,353,720	-	44,703,404	31,105,974	-	146,163,098

### 記載要領

- 流域関連公共下水道は、「建設改良費」の欄に建設費負担金、「維持管理費」の欄に管理運営費負担金を含む。
- 「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。

赤字：既計画  
黒字：変更計画 (単位：千円)

年次	ロ . 財 源 の 部										合計
	建設改良費						維持管理及び起債元利償還費				
	国費	起債	他会計繰入金	受益者負担金	その他	計	下水道使用料※	他会計繰入金	その他	計	
平成29年度まで (過年度分)	24,543,494	31,590,750	4,707,701	1,493,140	3,037,511	65,372,596	15,184,114	45,275,775	-	60,459,889	125,832,485
	23,502,892	30,268,550	5,162,050	3,938,683	91,762	62,963,937	15,327,592	45,037,485	-	60,365,077	123,329,014
平成30年度	491,250	747,300	68,307	74,054	10,500	1,391,411	683,043	1,879,556	-	2,562,599	3,954,010
	489,674	697,393	0	35,579	26,898	1,249,544	709,589	1,889,615	-	2,599,204	3,848,748
平成31年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	547,245	737,563	0	33,986	33,635	1,352,429	730,321	1,865,680	-	2,596,001	3,948,430
平成32年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	525,400	783,011	0	42,988	25,875	1,377,274	750,125	1,860,450	-	2,610,575	3,987,849
平成33年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	446,042	708,247	0	42,529	18,223	1,215,041	775,174	1,803,492	-	2,578,666	3,793,707
平成34年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	444,570	705,910	0	42,376	18,175	1,211,031	799,956	1,772,382	-	2,572,338	3,783,369
平成35年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	361,397	573,844	0	34,476	14,747	984,464	824,649	1,662,868	-	2,487,517	3,471,981
小計	491,250	747,300	68,307	74,054	10,500	1,391,411	683,043	1,879,556	-	2,562,599	3,954,010
	2,814,328	4,205,968	0	231,934	137,553	7,389,783	4,589,814	10,854,487	-	15,444,301	22,834,084
合計	25,034,744	32,338,050	4,776,008	1,567,194	3,048,011	66,764,007	15,867,157	47,155,331	-	63,022,488	129,786,495
	26,317,220	34,474,518	5,162,050	4,170,617	229,315	70,353,720	19,917,406	55,891,972	-	75,809,378	146,163,098
下水道使用料※関連事項	接続率：85.5%（平成29年度：初年度）→ 87.0%（平成35年度：最終年度）										
	・水洗化の促進を図るための活動として、職員による戸別訪問や、はがきによる啓発活動等を通じたPR活動を行う。										
	有収率：57.8%（平成29年度：初年度）→ 58.0%（平成35年度：最終年度）										
	・合流区域における無収水量が多く、これを除いた有収率は約80%となっており、今後、有収率の向上を目的とした不明水調査等の検討を行う。										
その他の講じる対策											
5年に一度、適正な料金体系の検討を行う。											

### 記載要領

- 「建設改良費」の「その他」の欄には、工事費負担金、都道府県補助金等を記載する。なお、流域下水道は建設費負担金を含んで記載する。
- 「維持管理費及び起債元利償還費」の「その他」の欄には、都道府県補助金、積立金取り崩し額等を記載する。なお、流域下水道は管理運営費負担金を含んで記載する。
- 下水道使用料については、最近の有収水量の動向、国立社会保障・人口問題研究所等による人口・世帯数の見直し、企業立地の見直し等を踏まえた上で算定すること。
- 「下水道使用料※関連事項」の講じる対策の記載にあたっては、「下水道経営改善ガイドライン(平成26年6月、国土交通省・(公社)日本下水道協会)」等も必要に応じて参照すること。
- 「下水道使用料※関連事項」の「その他の講じる対策」欄には、例えば、下水道使用料の見直し検討や徴収対策の取組について記載する。

## 7. その他

### (様式1) 施設の設置に関する方針

主要な施策 (事業計画に基づき今後実施する予定の事業に関するものを選定)	整備水準				事業の重点化・効率化の方針	中期目標を達成するための主要な事業	備考
	指標等	現在 (平成29年度末)	中期目標 (平成38年度末)	長期目標			
汚水処理	下水道処理人口普及率	流域関連	36.2%	38.8%	67.5%	人口密度の高い地域(市街化区域等)から優先的に整備を行っていく。	西部処理区污水管渠整備(未普及解消) 狩野川左岸処理区污水管渠整備(未普及解消)
		単独	23.2%	27.0%	27.0%		
		沼津市全体	59.4%	65.8%	94.5%		
浸水対策	都市浸水対策達成率	整備目標 50.5mm/hr (5年確率)	5.5% 246.6ha	5.5% 246.6ha	100% 4,510ha	既設水路等のストックを活用し、効率的な整備を図る	重大な浸水被害が発生していないことから、汚水の整備を優先して行う。
高度処理	(該当なし)						
合流式下水道の改善	合流式下水道改善率		100%	100%	100%		平成25年度に合流改善事後評価を完了。
汚泥の再生利用	燃料又は肥料等有効利用された割合		100%	100%	100%		平成28年度末現在、100%有効利用を行っていることから、今後も継続して有効利用を行う。
その他処理水の有効利用	(該当なし)						
雨水の有効利用	(該当なし)						



(様式 2) 施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の計画
管渠施設	管路施設のうち、腐食のおそれの大きい箇所(管渠・マンホール(蓋を含む))を対象に5年に一度、管内目視又は管口テレビカメラ等による点検を実施。また、10年に一度、もしくは、点検で異状が確認された場合、テレビカメラ等による調査を実施。 また、その他の管路施設については、平成31年度に策定予定のストックマネジメント基本計画において点検・調査の方針を検討する。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	平成31年度に策定予定のストックマネジメント基本計画において点検・調査の方針を検討する。
水処理施設 (送風機本体)	平成31年度に策定予定のストックマネジメント基本計画において点検・調査の方針を検討する。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	平成31年度に策定予定のストックマネジメント基本計画において点検・調査の方針を検討する。

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	改築の判断基準
管渠施設	主要な管路施設を対象に、緊急度ⅠまたはⅡに該当する施設を修繕・改築対象とする。なお、平成31年度を目途にストックマネジメント計画を策定し、判断基準の内容を見直す予定。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	健全度2以下に該当する施設を修繕・改築対象とする。なお、平成31年度を目途にストックマネジメント計画を策定し、判断基準の内容を見直す予定。
水処理施設 (送風機本体)	健全度2以下に該当する施設を修繕・改築対象とする。なお、平成31年度を目途にストックマネジメント計画を策定し、判断基準の内容を見直す予定。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	健全度2以下に該当する施設を修繕・改築対象とする。なお、平成31年度を目途にストックマネジメント計画を策定し、判断基準の内容を見直す予定。

iii) 改築事業の概要（平成 30 年度～平成 35 年度）

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	現在、事業計画期間内の改築予定はないが、平成 31 年度を目途にストックマネジメント計画を策定し、計画的な改築・更新を実施予定。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	現在、事業計画期間内の改築予定はないが、平成 31 年度を目途にストックマネジメント計画を策定し、計画的な改築・更新を実施予定。
水処理施設 (送風機本体)	現在、事業計画期間内の改築予定はないが、平成 31 年度を目途にストックマネジメント計画を策定し、計画的な改築・更新を実施予定。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	現在、事業計画期間内の改築予定はないが、平成 31 年度を目途にストックマネジメント計画を策定し、計画的な改築・更新を実施予定。

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築需要の見通し (年当りの概ねの事業規模の試算)	試算の対象時期	試算の前提条件
年当り概ね 6.28 億円	概ね 100 年後	管路施設の目標耐用年数を 75 年に設定。 処理場・ポンプ場の土木・建築構造物の目標耐用年数を 75 年に設定。 処理場・ポンプ場の機械・電気設備の目標耐用年数を 25 年に設定。